

防衛大臣 中谷 元

Minister of Defense
Mr. Gen Nakatani



つばさ会会長 吉田 正

President of JASDF Veterans Association (Tsubasa-Kai)
Gen. Tadashi Yoshida (Ret.)



日米エアフォース友好協会設立20周年誠に
おめでとうございます。

近年、航空自衛隊と米軍との関係は大きく深化しました。平成24年に航空総隊司令部等が横田へ移転し、平素から在日米軍と緊密に情報共有等を行う環境が整いました。さらに、昨年4月の18年ぶりとなるガイドラインの改定により、日米同盟はより強固なものとなりました。訓練についても、貴協会から例年激励を賜っておりますコープ・ノース・グアムやレッド・フラッグ・アラスカに加えて、昨年は、初めてオペレーション・クリスマス・ドロップにも参加しました。

このように航空自衛隊が米軍と益々緊密に活動できますのは、貴協会からの20年にわたる御支援があつてこそのものであり、深く御礼申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増し、米軍との関係が益々重要となる中で、貴協会におかれましては、航空自衛隊と米軍との架け橋として、今後ともより一層の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴協会の今後益々の御発展と、岩崎会長を始め会員の皆様の御健勝と御多幸を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



Mr. Gen Nakatani, Minister of Defense
with Mr. Ashton B. Carter, Secretary of Defense

日米エアフォース友好協会20周年おめでとう
ございます。

JAAGAは、つばさ会の付属組織として創設以来、航空自衛隊と米空軍の相互理解と友好親善の増進に貢献されてきました。

近年、わが国を取り巻く軍事環境の変化は流動化、加速化が進むとともに、ますます厳しさを増し、わが国が独立国家として国民の安全、安心を確保するためには日米安全保障体制をしっかりと維持し、その実効性を確保することが最も重要な点であることは論を待ちません。

航空自衛隊と米空軍は、従前から多種、多様な面で交流を持ち、作戦運用、教育訓練、装備等、日米共同運用体制の強化に努めてきております。

就中、航空総隊司令部の横田移転を通じてその強化は目覚ましいものがありますし、また、多年にわたる米空軍への留学生の派遣は教育を受けるのみならず、心の交流を通じ人的面からの繋がりはその裏打ちをなすものとなっています。

JAAGAは、航空自衛隊のOBとなった方々が、現役時代に培った友人関係等をもとに現役同士の連携に縦、横、斜めからの繋がりを強化し、さらなる強固な関係を保てるよう協力することに意義があり、今後とも一層の努力をしていただきたいものです。

近年、JAGGA特別会員として、元PACAF司令官等を迎えられたことと伺っていますが、人との繋がりが全ての根源であると思います。

ここにJAAGAの活躍の場が見出せるものと思います。

今後も日米安全保障体制が強固なものとなるようJAAGAが側面から現役を支援されることを期待いたします。